

頂いたご意見の主な内容

- ・現状の議員報酬内でやりくりできるはずであり、追加の公費負担は不要。
- ・離島が多い町だからこそ、議員活動を支える仕組みが必要。
- ・視察や研修はオンラインでも可能ではないか。移動費をかける必要はない。
- ・志やアイデアはあるが資金面で諦めていた人にもチャンスが生まれ、町全体の利益につながる。
- ・使途不明金や報告義務の曖昧さから、不正利用の可能性があるのではないか。
- ・活動内容に透明性があり、第三者が確認できる体制が整っていれば問題ない。
- ・現在の議員の活動を見る限り、政務活動費を導入しても適切に活用されるとは思えない。
- ・収支報告の義務を徹底し、使途不明金をなくす対策を行えば安心して活用できる。
- ・上限3万円の設定に対して、「十分ではないのでは」「逆に増えすぎる懸念もある」と思う。
- ・特定の議員の発言力に左右される町政では、公正な活用ができるのか不安。
- ・活動内容によっては議員個人の負担で対応すべきものもあり、その線引きを明確にすべき。
- ・他地域への視察は報告書の公開を義務付け、町民が検証できる仕組みを導入すべき。
- ・SNSなどで拡散されても恥ずかしくない内容であることが重要。
- ・議員の活動を町民も学べるように、オンライン配信を導入すべき。
- ・「なぜこれまで導入されてこなかったのか？」という疑問に対し、町民への説明が必要。
- ・竹富町をより良くするために進めてほしいという期待する。
- ・町民の暮らしや命を守るためにも、議員には頑張ってもらいたい。
- ・政務活動費の導入で、町の未来を考える議員が増えることを期待。
- ・きちんと議員活動をしてもらうには、政務活動費は必要不可欠。
- ・今までなかったのが不思議なほど。竹富町の特性を考えれば導入は当然。
- ・導入後に金額が増加したり、一律支給になることがないよう規則を整備すべき。
- ・活動費を使って何をしたのか、議員のレポートとして公開してほしい。
- ・議員の資質向上や町の発展につながるよう、適正な活用をお願いしたい。
- ・議員の活躍が町民の生活向上につながるよう、町民は期待している。